

＝1月＝

NO. 288

昭和46年1月10日

編集と発行 市長公室企画広報係



広報

あくね

毎月1回 10日発行 1部10円

昭和43年8月20日 第5種郵便物認可

賀正



戸柱公園

1971年の市政に望む

市長と語る



出席者	漁業青年(黒之浜) 農業後継青年(尾崎) 工場女子工員(スター光学) 青年商工クラブ	浜元 浩(24) 有田 房男(24) 天立香代子(21) 坂上 謙一(21)	勤め人(阿久根漁協) 勤め人(鹿兒島銀行) 公務員(市役所) 阿久根市長 司 会	岩切昌昭(23) 中村佳子(22) 山田 実(20) 丹宗 忠 川畑文平
-----	---	---	--	--

画期的なまちづくり

若人のエネルギーを生かして

新年おめでとうございます。このすがすがしい朝空に、改めて昭和四十六年の新たな希望と決意を誓われたことと、心からお喜び申し上げます。今日は、市内のそれぞれの職場で働らいていらっしやる、若いみなさんに新年の抱負と、四十六年における市政に対する要望など、市長を囲んで語っていただきました。

司会 本日はどうもご多忙のところご苦労さまです。今日、みなさんにお集まりいただきましたのは、市内に働らいていらっしやる若人のホープとして、新しい年の抱負、希望について語ってもらい、また、市政につきましても、市長と率直に話していただき、その話

し合いの中からその声を市政に取り入れ、そして、積極的に市政を推進して行きたいと思えます。若いみなさんの新年に当って、ぜひことはこんなことをやってもらいたいとか、抱負などをお願ひします。

心身ともに充実した年に

平凡でよいから小さな幸せを

山田 ぼくとしては新春を迎えることには非常に有意義な年なんです。といいますのは、ことが成



山田 実

第一に選挙権が与えられ、また何ごとも親の力を借りないでもできる。法律からいっても一人の大人として認められ、新聞であつて何んであつても、A君、B君でなくて、山田君という名前が載ると思うんです。

人を迎える年であり、考えのもつて行きようでは、有意義な一年になるんじゃないかと思えます。身と、一派な大人の仲間入りして、真任ある仕事をして行きたい

成人される方へ

一月十五日は「成人の日」です。成人式は、阿久根市民会館ホールで開かれます。

みなさん、全員ご出席ください。
○十時きっかり開会いたしますので、遅れないようにご注意ください。
○服装のことに気になさらず全員ご出席くださって有意義にお祝いいたしましゅう。
きょうから成人



司会 それではどなたか、岩切

さんどうですか。

岩切 四十六年という年は漁協
では、結婚ウツシエの年なんです
すでにことしも何組か決つており
僕も、できたら平凡な幸せをつか
み、意義ある年にしたいと考えて
います。

司会 有田さんはどんな抱負を
おもちですか。

有田 そうですね、別に四十六年
に入るからといって、新年の抱負
というものはありませんけれども
もう少し味のある生活をやつてみ
たい。



有田 房男

現在のわたくしは借金と仕事に
おわれて、自分のもつべき時間と
いうものが少ないんです。

だからもう少し頑張つて平凡で
もいいから、何か小さな幸せをつ
かんでみたいと考えております。

司会 幸せな年でありますよう
にお祈りします。

天立さんいかがですか。

天立 わたくしの会社もできて
から、年過ぎたんですけれど、軌道
に乗るのはなかなかむづかしく、
みんないつしようけんめいやつて
いるんですが、ことしこそいまま
で八ミリカメラの半分まで組立て
いたんですけど、ことしはレンズ
もそれからマエイタの方も全部完

成品に仕上げ、く張り切ろうとみな
を頑張つて、います。



天立 香代子

これからもうよりよい阿久根市の
ためにも、いつしようけんめいつ
くして行きたいと思ひます。

司会 また、一方では寒い冬を
迎え、吹きすさぶ嵐の中で漁業の
方に精を出していらつしやる、黒
之浜の漁元さんいかがですか。

漁元 去年相父を亡くしまして
現在自主になつています。これか

市民総親和・総前進で 公害のない いこいの場を確立

公害のない いこいの場を確立

司会 どうもありがとうございます
ことだと思ひます。

四十六年の頭初にあたり、市と
しての新しい構想、抱負などを、
お話しになつていただきます。

市長 一九七一年という年は、
わたくしは日本における、一つの重
大な画期的な年であると感じてお
ります。

日本は経済成長において世界第
二位に伸びたとか、非常に結構な

ら、一家の大黒柱となりますので、
研究することも怠らず、いつしよ
うけんめい頑張らなくてはと思つ
ております。

司会 いよいよ寒い折から、か
らだにじゆうぶん気をつけていた
だきたいと思つています。つぎに
銀行に聞いていらつしやる中村
さん。

中村 わたくしはB.G.を代表し
て発言させていただきます。

銀行員としての一番の目的は貯
金をのばすことだと思ひます。

まず、そのためには銀行員の人
間関係といいますが、一番大事な
ことは「和」だと思ひます。

坂上 正月からこんな催物など
あつてことしは一段といひ年にな
るんじゃないかと思つています。

阿久根市は日本でも田舎の方だ
し、服装にしてもいろいろ批判的
なことがあります。自分なりの
やりかたで、ことしも精一つばい
やつてみようかと、荒っぽい心構
えをもつています。



市長 丹宗 忠

けれども人間生活というものは
物の面だけととのつて、本質の人
間的に幸せを感じるのかというこ
と、そうじゃありません。

漁業関係におきましては、阿久
根市の漁業は大部分が沿岸漁業で
す。この沿岸漁業の再開発と、自

成人の日の祝い電報を
おうちになるときは

成人式の日の祝電をおうちに
なるかたは、配達日時指定電報
(配達)の十日前から発行でき
る一を二利用になるか、または
前日(一月十四日)に、おうち
いただきますようお知らせします
(電報電話局)



つとめ、自然に恵まれた景色を生かして行きたいと思えます。

昨年、補助K・Kが阿久根市に

進出が決り、ことし十月操業を開始することになっていますが、これ

からも、できるなら公害のない企業を誘致し、阿久根市を家庭産

業のまちとしても発展させ、公害から離れたいこのまちとして、

人間的に本当に育つまちづくりにつとめたい。

そのほか、公営住宅の増設と青少年の体力づくりの場である総合

グラウンドの建設を推進し、幼児の教育機関の充実をはかり、高齢

者の長寿を祝福し、市民の福祉増進につとめます。

推進してほしい誘致企業

人口流出防止が今後の課題

司会 どうもありがとうございます。阿久根市に新しいいきいきを感じさせるような、市長の盛大な構想をお聞かせしまして、わたくしども勇気と希望が湧き立つようでございます。

つぎに、みなさんの市長に対してこうしてほしい、あるいはこうしてもらいたいとか、市政についてお尋ねになりたいことがありましたらお聞かせください。

漁業をやっているらっしゃる浜元さんなどの、漁民の側からの要望などございませんか。

浜元 僕たち漁業者は生まれた

そして、新春に向って市民総報和、総前編を旗印にして、市政発展を遂げていきたいと思えます。

みなさんも、物の面にとらわれず、人間としての本当の判断力を養って、つねに学び、つねに健康で明るいまちづくりに前進しましょう。わたくしをはじめ市役所の

職員も、市民に親しめるサービス機関としてご利用願ひ、明るく職場づくりにもつとめ、緑の下の方もちとして、市政発展にまい進して行きます。

送っています。現在波戸の上にも公営住宅を建設中でありますが、これらの住宅をどんどんつくって

もらいたい。

司会 よくわかりました。いま直接ご要望がありましたので、ぜひそのように取りはからっていかれると思えます。

坂上さんあなたから考えて市の行政などについてご注文はございませんか。

坂上 まあ、市長さんもおっしゃったように、こんど補助K・Kが阿久根市でことし十月から操業を始めるということですが、商店街 発展のためにも、できるだけ

けそういつた企業を誘致してもらいたい。

できることなら、公害のないものを望みますが、多少は公害の出るものでいいから企業を誘致し、

人口流出を防いだら、市発展のためにもつながらると思えます。

阿久根市の商店街の賑わいとこ

ろは一つは、商店街がかたまっ

ていないということ

です。

これは、わたくし個人の考え

ですが、

商店街をまと

めるということはむつかしいこと

とですから、できるだけ人の集

まると



浜元 浩



坂上 謙一



熱気あふれる阿久根漁港

日曜医さん

●一月三日

堀切医院②0263 (高松)

喜多医院②0038 (大丸)

石原医院・臨本45 (橋東)

●一月十日

中村病院②0015 (大丸)

内山病院②1551 (高松)

臨本診療所・臨本26

●一月十五日

阿久根内科②0578 (琴平)

田中医院②0553 (大丸)

浜之上医院・臨本13 (馬場)

●一月十七日

上園医院②1055 (本町)

山田病院②0420 (本町)

平 医院・臨本40 (古里)

●一月二十四日

北国医院②0016 (浜)

喜多医院②0038 (大丸)

黒木医院・臨本200 (馬場)

●一月三十一日

堀切医院②0263 (高松)

内山病院②1551 (高松)

石原医院・臨本45 (橋東)

香典返し

つぎのかたがたから香典返しのご寄付がありました。ありがとうございます。ありがとうございました。(敬称略)

●花水園蔵(中層敷) 三万円

●大磯祐爾(鶴川内) 三万円

一月は「固定資産税」

第四期分の納期です

き派に再選されまして、いろいろ
ご苦労があったと思いますが、こん
ごの漁業の状況について、市に何

早期完成を望む新港整備

必要な特産地の育成

岩切 四十八年完成予定の外港
の問題ですが、いまの工事の進み



岩切 昌昭

新港の方も四十八年度までには完
成すると思います。頑張ってください。

かたからして、四十八年完成は無
理だ、ないかと思いますが、

外港ができないと、いまの港は
二百トン級の船が入ってきますと
浅く危険な状態にあるんです。そ
れで、外港の早期完成がいそがれ
るわけですが、その見通しについ
て市長さんの考えをお願いします。

市長 外港の四十八年完成を
まして現在工事も進んでいますの
で、一日も早く完成するよう努力
したいと思っています。

漁港ばかりでなくもう一つ新た
に商港としての阿久根港も盛り上
げていこうと考えています。

港の整備は阿久根市発展にもつ
とも深いつながりがありますので
こんご、県や国など関係機関に積
極的に働きかけ、市内の漁港整備
も合わせて、取り組んでいく覚悟
です。

か要望などがありましたら、ひと
ことお願ひ ます。

司会 岩切さん、いですか。
農業者にと
ってはどうし
てはもう少し
経営面あるいは
行政面の技術指
導をやってほし
いですね。

有田 われわ
れ農業している
者にとつては、
新しい農業につ
いての積極的な
研究が欠けてい
るような気がし
ます。



振興著しい市街地

他県からのお客さまがあまりま
しでお話したんですが、鹿児島県
の経済は他県に比べて、十年は遅
れているといわれて、びっくりした
と同時にいやな気持ちがありました。
やはり、経済の発展は市長さん
もおっしゃったとおり、企業誘致
とか、農業、漁業の振興というも
のが大事じゃないかと思っています。
市政に対しては、一人一人が明
るい生活をおくり、明るく家庭生
活ができるよう、こんご進めてほ
しいと思います。

優秀な技術員の補充など。
阿久根の特産である文旦も去年
は、全国の農業祭やテレビなどに
宣伝され、非常にうれしく思っ
ています。この宣伝について今後、
どんな方法をとっていかれるかお
聞きしたい。

市長 実はいまは文旦だけ
はこのもの比べてみて味も良
いと思つています。

文旦こそほかのカンキツからみ
ましてももう手もかからないもの
で、こんご文旦の特産地としても
つて行かなくてはならないと思っ
ています。

宣伝についても、情報機関を使
えないような物は斜陽化してだめ
になります。大いにテレビ、ラジ
オなどを使って宣伝して行きたい
それには、大量生産が必要にな
ってきます。これからは文旦の特
産地づくりに若いエネルギーをそ

それでほしいですね。
そ、ら、農政関係の技術員の
補充については、どしどしやって
行きたい。
それには、一人一人が研究し、
百姓を企業と思つて、真剣に取り
組んでほしいと思います。

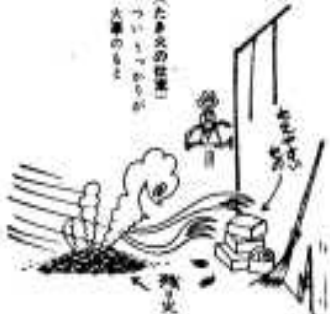
司会 市長がお話しになった通
り、丹波市政というのは、農政を
このままではいけない。何か打開
策をとということで、努力されてお
ります。

つぎに女性の方から何かござい
ませんか。



中村 佳子

中村 わたくしはいままで市政
に対して恥ずかしいですが、あ
まり関心がなかつたので、取り立
ていうことはありませんが、去年



軌道に乗る道路舗装 総合的な郷土発展に尽力

市長 そういうことにつきましましては、先きほど決意をのべたとおり、わたくし先頭に立ち、命をかけて、頑張っていくつもりです。ので、工場誘致、漁港あるいは農業に、商店街の明るい街づくりにも影響して行く心がまえでございます。

市長 それでは同じく女性の方、たとえば市役所にいられたことがございますか、市役所に対してこうあつてほしいとか何かございますか。
市長 いま市として舗装は五年計画ということで市道については全部舗装してしまふんだということではあります。
市長 たまたま山下線は県道でありま

ので、県に陳情、接しようをやっていますので近い将来それも実現すると思います。
市長 いまみなさんがたから市長ならびに市役所に対する要望とか希望があつたわけですが、同じく市役所に動いていらっしゃる山田さん、市役所の中でどのように考えているかそういうことについて一つ。
山田 先輩のかたがたが非常に市政というものを、阿久根市発展の礎を築いていらつしやる

ことを聞いて、自分がいままさら恥かしく思っているところです。
市長 わたくしは自分で事業をやっているんでなくて、先きほど市長さんもおつしやつたように、市の職員は市民の縁の下の方もちだ、だからこんご五年あるいは十年先きを考えると、みなさまがたとよりよい阿久根市発展を考え、市民のかたがたの手となり、足となって市職員として、恥かしくない責任ある仕事をやって行きたいと思っております。
市長 最後に市長から、若い者がたの時代です。つねに勉強に励み、自分というものを見失わず、最後まで走り続けようじゃありませんか。
市長 一九七一年初頭にあたり、希望に満ちあふれ、ご健康と幸せに恵まれた、よき年でありませう、心からお祈り申し上げます。
市長 どうもみなさんお忙しい時間をさいていただいて、このへんで座談会を終わりたいと思ひます。

市長 もう一つたとえばこういう点は市民のかたは、市の職員を理解して欲しいという点はございませんか。
山田 わたくしは市役所の税務課に在る関係で部落の中に入つて行きます。その中でよく聞くのが市役所の中に入るのが、入りづらいいといわれます。
市長 わたくしは、市役所には同郷出身者をいらつしやるし、部落の集会に出る気持でおいでくださいといひます。
市長 いろいろご相談したいときは、市民相談室もあり、市民のサービス機関もつくつてあります。これをご利用願つて、市の職員と接して、市役所のありかたというものを理解してほしいと思ひます。

「ことしはあなたがたの時代
最後まで走り続けよう」



道路舗装も急ピッチ

礎を築いていらつしやる

若いみなさんこれからはあなた



フレッシュで躍動の市勢

新港四十八年度までには完成



阿久根市長 丹宗 忠

みなさんごなとも

おめでとうございます
身も心も新たに、希望に満ち満ち
ちた。昭和四十六年をお迎えにな
られたことを心からお喜び申し上
げます。

年の始めにあたり、広報で阿久
根市が前進する姿を紹介できま
すのもすべて皆様がたのご指導に
よるものと深く感謝申し。げます。
かえり見ますと、昨年は、世界
にとつても、日本にとつても、ま
た、わが阿久根市にとつても、忘
れることができないできごとが多
く発生してあります。

わたくしが市政を担当させていただいて
すでに十一年の歳月が流
れました。当時のことを思い出
すと真に隔世の感がいたします。
しかし、幸いわたくしは、市民

の皆様がたの深いご理解とご援助
によりまして市勢も飛躍的に発展
してまいれるものと確信しておりま
す。
ところで年頭にあたり本市政の
過ぎし一カ年を顧みますと、幾つ

かの事業が目の前に浮かんで参り
ます。まず念願でありました黒之
瀬の架橋が本格的に測量設計を始
め工事事務所が開設されたこと。
高令者の長寿を祝福し、敬老年金
支給制度の確立と、未来の市民課
生を祝って、赤ちゃん誕生証書、
県下で初めて黒之瀬に漁村の家の
建設、農業構造改善の推進、道路

舗装、温泉開発を地質学的に探査、
ちり収集手数料を無料に、公営住
宅の増設、全国で初めて一市で二
つの児童館、本・黒之瀬に、そ
のほか、総合シラウンドの建設、

企業誘致などがありますが、これ
もひとえに皆様がたのご協力のた
まものと感謝にたえません。

また、現在工事中の阿久根市新
港につきましても、一段と工事を
進め、四十八年度までには完成す
るよう、あらゆる努力をいたすつ
もりでございます。

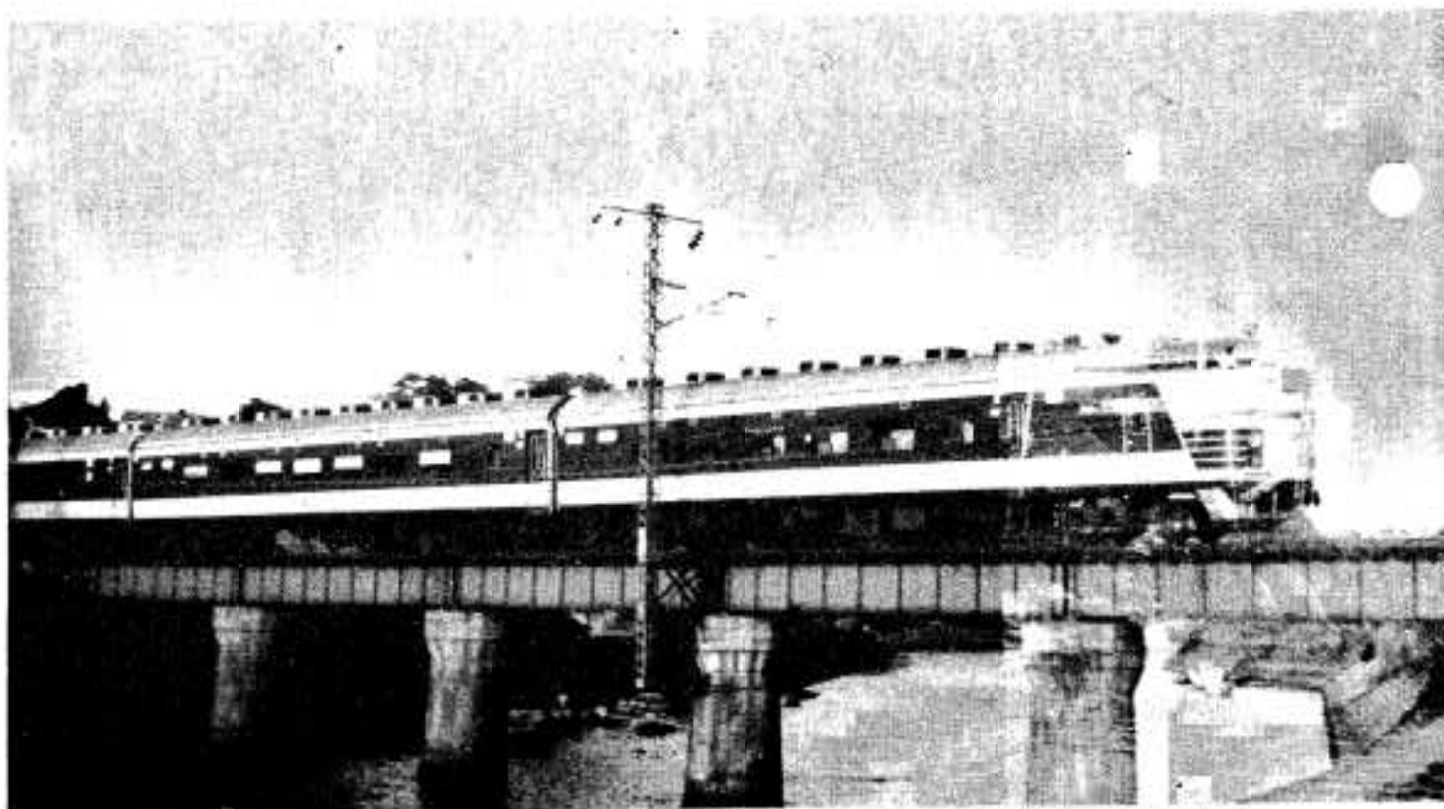
県が総力をあけて準備中の太陽
国体も、あと一年とせまってまい
りました。
健康で明るい市民生活と、たく
ましい太陽の子の育成にも力をそ
そぎ、美しいまちづくりにつとめ、
立派に国体を成功させる準備もし
ております。

ことしこそ、フレッシュを市民
総振和、総前進を旗印にまい進し
たいと思っております。
年頭に当って、わたくしの所信
を申し上げ、重ねて皆さんのご協
力をお願いする次第でございます



飛躍する阿久根

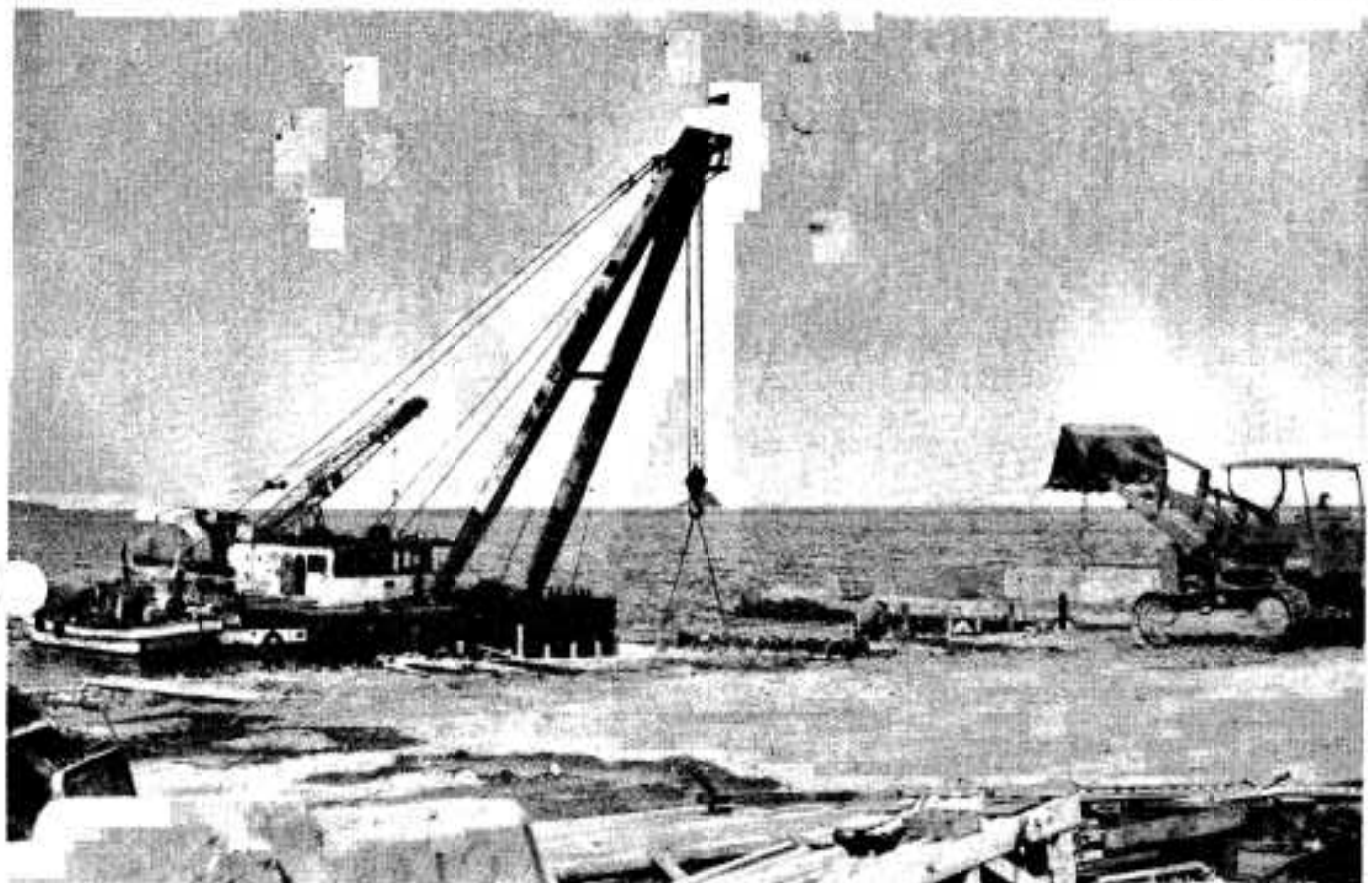
— 写真特集 —



▲電化された鹿児島本線



▲つぎつぎに工場も誘致された



▲着々進む新港建設工事



▲黒之瀬戸大橋取り付け道路工事も急ピッチ



▲首相官邸に植えられた文旦

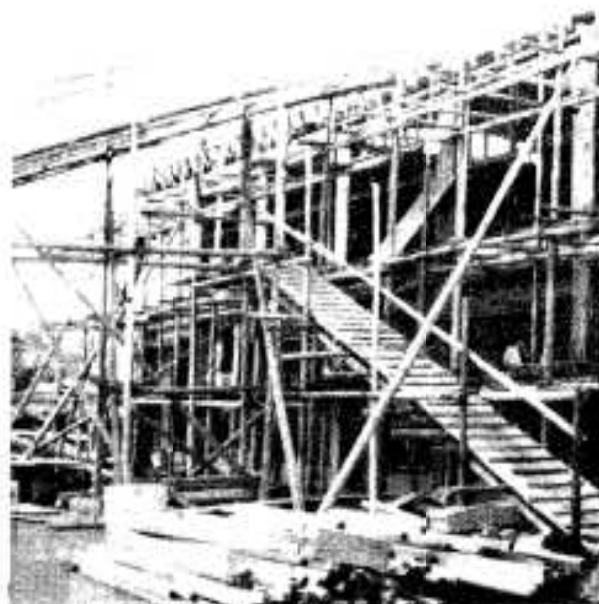
47年太陽国体へ向かってかけ足



▲第二次構造改善にともなうは場整備と、大田橋のかけ替え、大曲橋が新設された



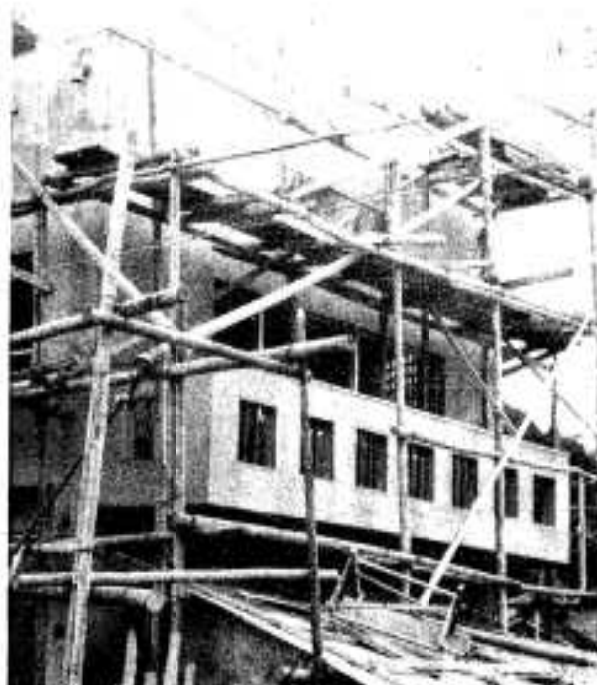
▲住宅も毎年増設される（黒之浜波戸之上で）



▲西目小屋体建設も3月完成めざして



▲わたくしたちの台所にかかすことのできない水源地の拡充、これで3月までは山下地区に送水される。



▲県下で初めての漁村の家まもなく完成（黒之浜）

編集室雑感

▲元旦は、年の改まりというだけで気分が引きしまり、何とはなしに目出たく感ずるから妙である。

昨年もあわただしく、雑然とした編集部のおかげであつたが市政と市民のかけ橋の役割りとして多少とも貢献できたと思うのはヒガミか。

▲「大きくなろうとするけど、一方では足の方からすり切れて一向身長が伸びない」とガイ歎する浦記者。今年もまたカメラ片手に東奔西走であるが、「何事も市民のため」である。

▲いとうれしきもの——「遠くはありてふるさとのたより（広報）など読みかねて見知りたる人などの記事など見いだしたるはいとうれしく、思はず涙など落ちるこゝちこそすれ」と県外在任の出稼者や自衛隊員などの手紙が編集室に来たときなど、かねての苦勞など吹きとんで、記者ミョウリを感ずるところである。

▲何はともあれ、今年も猪突ならぬ全力投球で行きたいと編集部一同張りきっていますので、ご意見ご希望をどしどしお寄せください。